

＜健康支援サービス創出推進事業＞（平成27～29年度実施）

簡易血液測定サービス効果検証プロジェクトの概要

■特区の目的・事業概要

- 本特区は、**地域住民の生活習慣病予防および重症化予防**ならびに**健康づくりへの取組の促進**を目標としている。
- 課題解決策として、「健康なひとづくり」および「健康なまちづくり」を進めるため、**健康無関心層の行動変容**ならびに**健康診断および医療機関受診につなげるきっかけ提供**を推進。
- 具体的取組として、新たな健康支援サービスとしてその有効性が期待される「**簡易血液測定サービス**」について効果検証を実施。

■事業イメージ

薬局が開設する**検体測定室**※において、短時間で結果がわかる**簡易な血液測定サービス（自己採血によりHbA1c、食後血糖値を測定。糖尿病治療中の人は対象外。）**を提供し、すべての利用者に対して**受診勧奨**および**健康啓発**を行う。

※検体測定室とは、「検体測定室に関するガイドライン」（平成26年4月、厚生労働省医政局）に基づき、利用者が自ら採取する検体について生化学的検査を行う施設で、測定結果の報告（測定値と基準値のみの報告に留め、医学的判断を伴う話はない。）および受診勧奨を行うもの。

■参画機関

大津市薬剤師会、  
大津市、滋賀県

■協力機関

大津市医師会、  
協会けんぽ滋賀支部

■実施薬局(滋賀県大津市)

うさぎ調剤薬局（浜大津）、おくやま薬局（大將軍）、  
クロス調剤薬局（春日町）、れもん薬局（坂本）

■特区における効果

- 本サービスは、「健康無関心層の掘り起こし効果」をはじめとする各種検証に対し効果が認められた。特に、サービス利用者のうち糖尿病境界域または糖尿病域の結果がでた利用者については高い受診勧奨効果があり、本特区における「地域住民の生活習慣病予防と健康づくりへの取組を促進し、県民がいきいきと健康に暮らす社会の実現」という目標に大きく寄与するものである。
- 現在、滋賀県における平均寿命は男性が全国1位、女性が全国4位（※1）であり、また健康寿命についても男女とも1位と報告されている（※2）。今後も、簡易血液測定サービスをはじめ、本特区期間内で事業モデル構築に取り組んだその他の健康支援サービス（「健康のび体操」等）についても各地域で継続実施し、「県民がいきいきと健康に暮らす社会」を実現し、更なる平均寿命及び健康寿命の延伸を図る。

※1 「平成27年都道府県別生命表」厚生労働省 男性 81.78年（全国1位） 女性87.57年（全国4位）

※2 日本の都道府県別の疾病負荷研究（1990～2015年）～停滞する健康指標と拡大する都道府県間の健康格差～（東京大学）

Population health and regional variations of disease burden in Japan, 1990–2015: a systematic subnational analysis for the Global Burden of Disease Study 2015

